

2016年1月18日頃から低気圧が発達し、関東・東北を中心に降雪による被害が発生した。ドコモの基地局にも停電の長期化や伝送路の断によってサービス中断を伴う被害が発生したため、災害復旧機材を用いて早期のサービス回復に取り組んだ。

降雪に伴う基地局への被害

岩手県沿岸北部、奥多摩・秩父を中心に基地局への被害が発生した。主な要因は、湿った重たい雪であったため、倒木などで電力や通信用のケーブルが切断されたからである。

さらに、山間部の奥地を中心に、現地へ復旧作業に向かうため除雪が必要な場所があった。ドコモでは山間部も含めた通信エリア充実に取り組んでおり、山間部の奥地にも基地局を設置している。そのため、一部の地域ではサービス回復までに数日を要することとなった。



ドコモでは山間部の奥地までエリア化しているため、冬期災害時は徒歩で基地局まで向かい状況確認と救済措置を行う。



徒歩(ソリ)で機材運搬

可搬型発電機による電力救済

ドコモの基地局設備には停電時でも運用できるようバッテリーを設置している。しかし、特に岩手県沿岸北部で停電が長期化したため、移動電源車や可搬型の発電機を用いた電力救済を延べ27か所で行い、通信サービスの維持に努めた。

山奥の基地局では、雪で現地に車が入れないため、ソリやハンドキャリーなど人力で小型の発電機を運搬する対応も行った。



移動電源車

発電機
(救済準備中)

移動基地局車によるエリア復旧

ドコモの基地局と交換局の間は、伝送路(通信ケーブル)で接続されており、電力が供給されていても、このケーブルが切断されては通信ができない。

一部の基地局では降雪・倒木により伝送路が切断されてしまったため、衛星エントランス搭載移動基地局車や可搬型衛星エントランス基地局を臨時に設営し、通信孤立エリアの救済を行った。



衛星エントランス搭載移動基地局車
(岩手県下閉伊郡岩泉町)



可搬型衛星エントランス基地局
(東京都西多摩郡奥多摩町)